

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期静岡県御前崎市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県御前崎市

3 地域再生計画の区域

静岡県御前崎市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、令和2年で31,103人となっており、平成12年に比べ20年間で4,956人減少している。世帯数は増加傾向が見られるが、核家族化が進み、世帯当たりの人員は減少している。また国立社会保障・人口問題研究所による推計値では、令和17年には25,213人、令和42年には16,124人になると推計されており、更に人口減少が進む見込みとなっている。

年齢3区分別にみると、15～64歳の生産年齢人口が大きく減少し、令和2年で17,564人となっており、平成12年に比べ20年間で5,799人減少している。また、年少人口（0～14歳）も減少傾向が続き、令和2年で3,673人と、20年間で2,313人減少している。一方で、老年人口（65歳以上）は増加を続けており、令和2年では9,537人にまで増加し、高齢化率は31.0%で、全国（28.8%）や静岡県（30.2%）より高くなっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における教育・子育て環境の衰退、自然災害への対応、交通・インフラ環境の悪化及び地域経済の低迷等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、御前崎市の将来都市像「安心と希望を未来へつなぐ人が自然と共生するまち 御前崎」の実現に向けて、住民の生活の質の向上を図り、人口の自然増につなげる。また、移住・関係人口の増加を目指すとともに、安定した雇用の創出等を図り、人口の社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 ひとを育てるプロジェクト
- ・基本目標 2 まちを整えるプロジェクト
- ・基本目標 3 しごとを創るプロジェクト

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和11年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	小・中学校での地域教材を扱った授業にかかわる地域人材数	620人	800人	基本目標 1
イ	御前崎市の産業活動に活力(元気)があると思う人の割合	13.7%	20.0%	基本目標 1
ウ	地域の行事に参加する児童・生徒数の割合	48.4%	70.0%	基本目標 1
エ	御前崎市が子どもを産み育てやすいと思う人の割合	29.0%	50.0%	基本目標 1
オ	住みやすいと感じている市民の割合	51.0%	60.0%	基本目標 2
カ	市内の公共交通機関が利用しやすいと思う人の割合	7.4%	30.0%	基本目標 2
キ	総合防災訓練参加率	21.7%	23.0%	基本目標 2
ク	地域防災訓練参加率	20.9%	22.0%	基本目標 2
ケ	患者満足度(5点満点)	4.35点	4.70点	基本目標 2

コ	創業・企業件数	29件	40件	基本目標3
サ	観光交流客数	2,115,572人	3,000,000人	基本目標3
シ	CO2排出削減へ向けた環境への配慮の取組み割合	85.1%	100.0%	基本目標3
ス	御前崎市の観光施設整備や観光イベントへの取組みの満足度	24.9%	40.0%	基本目標3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

静岡県御前崎市まち・ひと・しごと創生事業

ア ひとを育てるプロジェクト

イ まちを整えるプロジェクト

ウ しごとを創るプロジェクト

② 事業の内容

ア ひとを育てるプロジェクト

人が育つまちとして、人口減少・人口流出に対し、教育・子育て環境など、若者の未来を支え、将来への可能性を感じられる「御前崎」を築く事業。

【具体的な事業】

- ・英語・英会話教育の実施
- ・起業・創業支援、経営指導など、チャレンジを応援する仕組みを構築
- ・地域人材を生かしたキャリア教育の実施

- ・情報発信の強化と相談体制の充実 等

イ まちを整えるプロジェクト

持続可能な まちとして、甚大化する自然災害から守り、日々の生活利便性が向上し、より質の高い暮らしができる「御前崎」を築く事業。

【具体的な事業】

- ・都市構造を再編する、リノベーションまちづくり計画の策定
- ・市内全域 AI オンデマンド交通の導入など、持続可能な地域公共交通ネットワークを構築
- ・地域の特性にあわせた防災訓練への参加促進など地域防災力の向上
- ・総合病院と地域や近隣市の医療機関の連携（役割分担）と移動（通院）環境の構築 等

ウ しごとを創るプロジェクト

仕事生まれる まちとして、低迷する地域経済に対し、地域特性を活かした活躍の場づくりにより、雇用の場や関係人口・交流人口を拡大し、経済が循環する「御前崎」を築く事業。

【具体的な事業】

- ・起業・創業支援と経営指導の充実によるチャレンジを可能にする仕組みの創出
- ・関係人口および交流人口を拡大するワーケーションの仕組と受入れ態勢の構築
- ・自然環境の保全及び再生のためのブルーカーボン及びグリーンカーボン創出事業を推進
- ・地域・団体による特産品開発や販路拡大との連携による御前崎ブランドの構築と情報発信の強化 等

※なお、詳細は第3次御前崎市総合計画 基本計画（第2章 重点プロジェクト（御前崎市デジタル田園都市国家構想総合戦略））のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,545,336千円（令和8年度～令和11年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度、外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに、御前崎市公式ホームページ上で公表する。

⑥ **事業実施期間**

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで